

# 第50回 国公女性交流集会ニュース

つながろう、輝く未来に向けて ～ IN LIVE ～

発行: 第50回 国公女性交流集会実行委員会

Mail: joseikyo@kokko.or.jp

50<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

【集会テーマ】

新型コロナに  
まけないぞー

## ひろげよう連帯と共同の輪

## 誰もが大切にされる社会をめざそう

ア  
ト  
ラ  
ク  
シ  
ョ  
ン

### 全体会でアンケート等 実施します

今回の女性交流集会は、コロナ感染症対策を考慮した初の「オンライン」開催であり、限られた時間内での開催なので、分散会は行わず、アトラクションを全体会で実施します。また、オンラインでは「発言しにくい」を解消するため全員参加のアンケートも実施予定です。

そのほか、ニュースに掲載しているこの間開催された女性交流集会を振り返り、女性協運動のとりくみを再認識し、今後の運動に「繋げる」ことを目的としていますので、初めて参加する方はもちろんのこと、「この回は私も参加した」と、過去に交流集会に参加された方の参加もお待ちしております。

記  
念  
講  
演

### ジェンダー平等な働き方をめざして あなたを縛る「呪いの言葉」は何ですか？ ～みんなでこころのストレッチ～



講師 上西 充子 法政大学教授

主な著書：『呪いの言葉の解きかた』（晶文社）、『国会をみよう 国会パブリックビューイングの試み』（集英社クリエイティブ）、『政治と報道』（扶桑社新書）

【講演企画部からのお知らせ】

上西教授への「しつもん」を募集します！

例) 「女性登用」ばかりが先行して、ジェンダー平等ではないと感じます、逆差別ではないですか？

Mail: [joseikyo@kokko.or.jp](mailto:joseikyo@kokko.or.jp)

上記メールアドレスに、4/30までにお寄せください。職場の実態をお寄せいただいても構いません。

(記名・無記名どちらでも結構です。)

質問の参考として、昨年10/10に行われた「はたらく女性の中央集会」の上西先生のYouTubeをご覧ください。

はたらく女性の中央集会

で検索を。

## 参加は簡単！！

今回の交流集会は、オンライン（Zoomを利用）で開催します。ネット回線とパソコンかスマートフォン、タブレットがあれば参加ができます。

後日、各単組、ブロック・県国公を通じて参加者集約を募ります。また参加方法は後日お知らせします。

## 集 会 概 要

○開催日時

2021年6月5日(土)

13:30 ～ 17:00(予定)

○開催形式

ネットを活用したWeb集会

(全国どこからでも参加可能)

## 物資販売とりくんでいます

交流集会開催にあたって、「物資販売」を現在とりくんでいます。

物資販売では、オリジナルのコレクションのほか、今回「SDGs」を推進している製品を取り扱っています。

### SDGs (えすでいじーず) ってなに？

「Sustainable Development Goals」持続可能な開発目標の略称です。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲載された国際目標で、17の目標(左記参照)と169の具体的な目標により構成されています。世界規模で何が問題でどの様な取り組みを行っているか、ぜひ「SDGs」で検索してみてください。

国公労連女性協でも、ジェンダー平等などの観点から女性活躍の発展にもつながり、また様々な目標は私たちの暮らしを豊かにするものにとらえ、SDGsのとりくみを参考に広い視野で運動をすすめていきます。

集会成功に向け全国の組合員の物資販売への理解と協力をお願いします。

## 17の大きな目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 全ての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 10 人の国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公平を全ての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう



集会至上最高の全国から852名参加

休二日制が実現した。県国公女性協が24県に広がり、7月には静岡で結成、九州各県や石川でも準備が進んでいる」と着実に運動が広がり要求も実現していると言っています。

また、この集会を機にブロックでの開催を波及し、これまで沖繩を除く各ブロックで開催されています。

1992年5月29日(金)30(土)に初めて九州の地(福岡県・原鶴温泉)で開催された第22回国公婦人交流集会は、参加者数延べ852名(16単組46都道府県)と過去49回の歴史の中で最高を記録しました。特に若い参加者が増加し、採用されて間もない人や子育て中、高齢期を迎える人の要求に沿い分科会も11テーマとなりました。集会運営には、女性協役員、九州ブロックにおける現地実行委員はもちろん国公本體や九州ブロックから多くの男性が要員として協力し、集会成功に向け支えました。

基調報告では「今年は、念願の育児休業制度と週

50<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

最大の参加規模  
全国で運動を展開